

PTA活動紹介		高P連受付番号	1			
PTA(学校)名	愛知県立岡崎北高等学校	部門	1(安全)			
活動テーマ	「PTAで行う防災教育活動」(防災教育)					
キーワード	防災教育	災害対応	生徒との交流			
開催日	令和4年9月14日(水) 北高祭(学校祭)2日目					
場所	本校会議室及び本館前					
時間	11:00~14:30					
参加者	PTA役員5名+PTA委員15名					
趣旨	①震度7とはどれくらいなのか実感してもらうために、岡崎市に起震車を依頼した。 ②専門家によるAED講習会を実施した。 ③看護師による三角巾の使用講座を実施した。					
活動ポイント	・起震車を防災ブースの目玉として呼び、生徒の関心を集める。 ・3つのアトラクション(起震車、AED講習、三角巾講座)各アトラクションに参加した生徒には防災グッズをプレゼント。3つとも参加した生徒にはさらに防災食セットをプレゼント。 ・三角巾はPTA手作りの「鬼滅の刃」の市松模様。(参加者にプレゼント) ここ2年PTA活動が生徒の学校生活に直接つながっていなかったため、体験型ブースを通して生徒との交流を深めることができた。また、スタンプラリーの形式をとり生徒が参加しやすくなる仕掛けなどの工夫をした。					
主体委員会名・講師名等	AED講習講師：岡崎市役所防災課 柴田明男様(元岡崎消防署レスキュー隊) 三角巾講座講師：岡崎市立看護専門学校 伏田綾様(本校PTA委員)					
1 概要	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、PTA活動が制限されていた過去2年間であったが、今年度社会活動の回復にあわせ、PTA活動も次世代へ引き継ぐためにも再び活動を再開したいという、PTA役員の思いを実現するため、以下の活動を実施した。					
2 活動内容	①起震車体験 ②AED講習会 ③三角巾の使用講座					
3 活動準備	7月8日(金) PTAによる防災ブースプロジェクト発足(主にPTA進路委員が中心) 7月11日(月) PTA役員で岡崎市役所勤務の方が起震車の予約依頼 PTA役員で岡崎市役所防災課の方がAED等の準備手配 7月～8月 PTA役員を中心に防災ブースの詳細案を計画(起震車、AEDに加え三角巾使用講座を計画) 9月14日(水) 学校祭当日 PTA役員を中心に会場準備 PTA委員の方が会場運営を補助					
4 会場	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">美術室 (三角巾講座)</td> <td style="width: 33%;">会議室 (AED講習)</td> <td style="width: 33%;">昇降口前 (起震車)</td> </tr> </table>			美術室 (三角巾講座)	会議室 (AED講習)	昇降口前 (起震車)
美術室 (三角巾講座)	会議室 (AED講習)	昇降口前 (起震車)				
メール送信先	info@aichikoupren.org					

5 活動の様子

① 起震車




起震車体験にはたくさんの生徒が参加してくれました。そのまま、隣の防災ブースへ誘導です。

② AED講習



AED講習には、実際の人体模型も用意して行いました。先生方にも参加してもらい、いざというときの対応を学びました。

緊急事態の対応は

- 1 要救助者の様態確認
- 2 周囲にいる人を呼ぶ
- 3 救急車とAEDの要請
- 4 心肺蘇生
- 5 AED使用

を素早く行うことです。体育の先生はさすがに対応が正確で迅速でした。

下の写真は講師の先生の話真剣に聞く本校生徒達



③ 三角巾講座




左は朝から三角巾の準備をするPTAの方々
右は講師の伏田先生。
懇切丁寧なご指導ありがとうございました。

④ その他



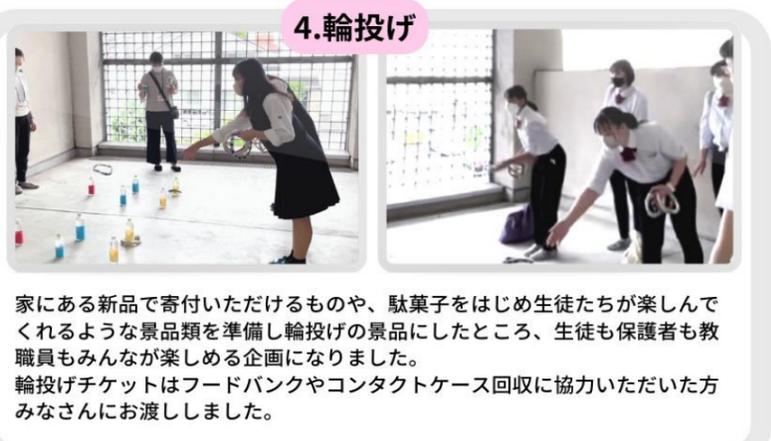

広報活動にも余念無く、ちゃっかり文化祭のしおりにてPR
スタンプラリーももちろんPTAの手作り

5 まとめ

この2年間学校へ来ることもままならない状態が続きました。これまでのPTA活動について知っているのも3年生の役員、委員だけでした。岡崎北高校PTA活動をこのままなくしてはならない、そんな熱い思いを持った3年役員を中心に一致団結して、生徒が楽しめて勉強になるそのような企画を立ち上げました。おかげさまでどの企画も大成功でした。生徒達の明るい笑顔が見られてPTAとしてよい活動ができたと思っています。もちろん感染予防も抜かりなし。来年度のPTA活動にいい形で引き継げたかなと思っています。

PTA活動紹介		高P連受付番号	2
PTA(学校)名	愛知県立桃陵高等学校		部門No. 1 (ボランティア)
活動テーマ	桃華祭PTA企画「SDGs活動(フードバンク、使い捨てコンタクトレンズ空きケースの回収)」		
キーワード	地域貢献と持続可能な活動	保護者、生徒、職員交流	輪投げの開催
開催日	令和4年9月8日(木) ※事前受付日:9月2日(金)、9月5日(月)、9月6日(火)		
場所	愛知県立桃陵高等学校本館3階ピロティ・2階テラス(事前受付:図書室)		
時間	午前10時~午後2時(事前受付:午後12時50分~午後1時25分)		
参加者	PTA役員14名、職員21名 生徒及び保護者127名		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 本校の学科の特性を踏まえ、PTAと学校が連携しボランティア、地域貢献につながるSDGs活動の趣旨を生徒に啓発し、保護者および教職員にも協力要請する。 学校祭(桃華祭)のPTA企画として、「フードバンクへの寄付、使い捨てコンタクトレンズ空きケースの回収」をSDGs活動として計画し、協力が得られた生徒・保護者・職員に学校祭当日に輪投げ(景品ゲット)に参加できる催事を開催する。 フードバンクの寄付受付は、大府市社会福祉協議会とする。(大府市役所より紹介) 使い捨てコンタクトレンズ空きケースの回収はアイシティと提携し学校祭後も継続する。 		
活動ポイント	将来、対人サービスに関わる職に就くことを目標にしている生徒達が、SDGs活動の意義を知り、支援を必要としている人々へのボランティア活動として地域貢献できるよう、PTA企画を開催した。		
主体委員会名・講師名等	愛知県立桃陵高等学校PTA		
1 概要			
<ol style="list-style-type: none"> 夏季休業中の出校日に、生徒へ「SDGs活動に参加して輪投げ券ゲット」と題した桃華祭PTA企画内容について、概要文書及びクラス掲示用チラシで発信し啓発する。またPTA会員(保護者)に保護者宛文書により協力要請する。 本校の学校祭は、愛知県立大府もちのき特別支援学校桃花校舎との合同行事であることから、桃花校舎の生徒及び保護者にも1)と同様の方法で参加を働きかける。 SDGs活動は、学校祭前に事前受付日を3日間設け、フードバンク、使い捨てコンタクトレンズ空きケースの回収に取り組み、当日の寄付と回収も受付ける。(輪投げチケット引換券を配布) PTA役員の手造り輪投げ会場を設定し協力が得られた生徒・保護者・職員とPTAが交流を図る。 事前にPTA役員および教職員に1品寄付を募り、景品として活用する。 桃華祭当日のSDGs活動の受付場所でフォトスポットを開催し、生徒の夢や目標、願いを綴ってもらい飾る。 桃華祭当日は大府小学校の参加児童に、輪投げチケットを配布し交流を図る。(例年交流) 			
2 開催までの準備			
日程	活動内容	PTA参加者	
8月5日(金)	・PTA役員への概要説明 ・開催必要物品購入計画 ・準備及び当日の役割分担 ・フォトスポットデザイン決定	9名	
8月25日(木)	・アイシティecoプロジェクトに提携申し込み(ポスター・回収ボックスの手配) ・桃華祭PTA企画について各クラスに発信・校内にチラシ掲示 ・フードバンクへの食品寄付の協力要請(保護者文書配布)	総務部担当	
8月26日(金)	・フォトスポット飾り準備(PTA役員参加者で役割分担し、飾り作成の協働作業) ・桃華祭当日のPTA活動の打ち合わせ(役割分担の提示)	9名	
9月2日、5日、6日	・昼休みにSDGs活動の事前受付(フードバンク・使い捨てコンタクトレンズ空きケース) ※寄付のあった生徒に輪投げチケットを渡す。 ・宣伝シンボル(うちわ)の作成	総務部担当 PTA会長	
9月7日(水)	・体育館でのオープニング(AM)で、PTA会長より生徒および参加保護者・職員にPTA企画開催紹介(SDGsの意味、アイシティecoプロジェクトの趣旨、輪投げ・フォトスポットの紹介) ・輪投げ物品の作成及び得点に応じた景品ランクの分類 ・フォトスポットの飾り ・アイシティecoプロジェクトポスター掲示および回収ボックス(大)の設置	PTA会長 10名	
3 桃華祭PTA企画開催当日:9月8日(木)			
開催時間	開催場所	PTA交流	開催状況
10時~13:30	・本館2階テラス(輪投げ会場・景品展示) ・本館3階ピロティ(SDGs活動当日受付・フォトスポット)	・PTA役員の役割分担はPTA歴に伴う経験値を踏まえ、各学年が交流できるように配置	・延べ160人以上の参加があり大盛況であった。 ・フードバンク:段ボール7箱を大府市社会福祉協議会に提出

4.活動の様子(写真)



5.まとめ

みんなの発想やアイデアをまとめ、市や団体・企業の力を借りながら計画を進めることで『SDGs』をテーマに開催する事ができました。PTA企画を通じて、家にあった物を寄付する行動から、それを必要とされる方に届くまでを全体を通して学び体感する事ができました。



大府市社会福祉協議会さんのInstagramに掲載していただきました。段ボール7箱分の寄付が集まり大府市役所さん立ち合いの元、大府市社会福祉協議会さんへ寄付し受け取っていただきました。

PTA 活動紹介		高P 連受付番号	3
PTA (学校) 名	愛知県立長久手高等学校PTA	部門 No.	1 (ボランティア)
活動テーマ	フードバンクへの寄付活動		
キーワード	コロナ禍でもできる活動	生徒会とPTAの共催	社会貢献
開催日	令和4年9月15日(木)、16日(金)に回収 同月27日(火) フードバンクへ物品の持ち込み		
場所	回収場所：愛知県立長久手高等学校3年2組教室 持込先：名古屋市区 セカンドハーベスト名古屋		
時間	回収：授業後30分 持込：午後3時～午後5時		
参加者	生徒会役員6名、保護者5名、教諭2名		
趣旨	・PTA 役員、生徒会、教諭とともに全校生徒に自宅にある食料品を持ち寄るように依頼した。 ・集まった食料品は、セカンドハーベスト名古屋と長久手市福祉協議会に寄付した。		
活動ポイント	貧困というなかなか実感が持てない状況を知ることで、食べ物の大切さや困っている人を助ける必要性を学ぶ機会とする。		
主体委員会名・講師名等	PTA委員		

1 概要

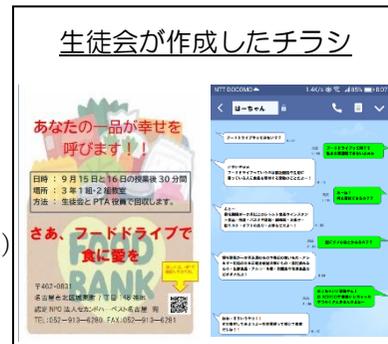
コロナ禍でもできる活動としてPTA会長から生徒会へフードバンク活動を提案し活動を始めた。生徒会では全校生徒へのチラシ作成、教諭が一斉メールの手配を行い、回収日は、PTA委員、生徒会及び教諭での共同作業となった。

持込日は、荷物を保護者の車に乗せ、生徒はタクシーでセカンドハーベスト名古屋に行き、理事の方から丁寧な説明を受けたほか、要支援者からの感謝の声がまとめられた用紙を見せてもらい、自分たちの活動が世の中の困っている人の役に立ったという実感を得る貴重な機会となった。

生徒会等の働きかけによって、予想を上回る寄付品が集まった。

2 活動日程

- 8月4日 生徒会とスケジュール等の打ち合わせ
- 8月末日 生徒会作成のチラシの内容確認と修正
- 9月13日 保護者向けの一斉メールで回収案内を发出
- 9月15日、16日 PTA役員と生徒会等による回収と梱包作業
(回収前日には生徒会が校内放送で案内を実施した。)
- 9月27日 セカンドハーベスト名古屋に寄付品をPTA会長、
生徒会、教諭で持ち込み
- 11月 8日 長久手市社会福祉協議会に持ち込み



3 回収時の状況



4 持ち込み時の状況



※ 取材を受ける生徒会のメンバー

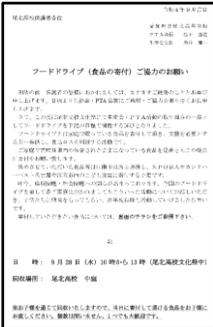


※ 理事からの説明

10月6日
中日新聞
(朝刊)に
掲載され
ました。



※ 要支援者の感想を見る生徒

PTA活動紹介		高P連受付番号	4
PTA(学校)名	愛知県立尾北高等学校		部門No. 1
活動テーマ	学校祭 フードドライブボランティア寄付受付		
キーワード	保護者の学校行事参加	コロナ対応	思い出づくり
開催日	令和4年9月28日(水)		
場所	愛知県立尾北高等学校 中庭		
時間	午前10時から午後1時		
参加者	PTA役員5名		
趣旨	1. フードドライブを実施するため、それぞれの家庭で眠っている食品を文化祭当日に学校に持って来てもらうように呼びかけました。その際に、廃棄しなければならない食品を発生させないように持って来ていただきたいものを明示しました。 2. 学校の所在地である江南市との連携を図り、寄付する相手を決定し、集まった食品を寄付しました。		
活動ポイント	学校でも取り組んでいるSDGsの達成を目指した活動に子供たちとともに保護者自身も参加する。		
主体委員会名・講師名等	PTA役員、PTA文化委員会を中心とした保護者有志		
<p>1. 概要</p> <p>(1) 令和3年度に豊橋西高校PTAが学校祭においてフードバンクボランティア寄付受付をされていたことに触発されました。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症への対応でこれまでPTAが学校祭で行ってきた「かあちゃんの店」が実施できていなかったことへの対応として取り組みました。</p> <p>(3) 子供たちの思い出に残るような行事をひとつでも実施したいという想いで企画・運営しました。</p> <p>2. 準備</p> <p>7月14日： フードドライブの企画について学校(校長先生)へ提案しました。</p> <p>8月24日： 江南市の福祉課の担当者と相談しました。</p> <p>8月29日： チラシを作成しました。チラシの配布方法等について学校と相談しました。</p> <p>9月13日： チラシが完成しました。PTA委員さんにフードドライブ食品持ち寄りの協力を依頼しました。</p> <p>9月20日： 全校生徒へチラシを配布しました。校内にチラシを掲示しました。</p>			
			

9月28日： 学校祭の2日目にフードドライブ当日を迎えました。生徒たちが持参した食品の受付をしました。150個ほどの食品が集まりました。その内訳はレトルト食品、缶詰、乾麺、油、お餅、海苔などでした。



江南市役所さんと連携を取り、江南市の子ども食堂を運営する「ドルフィンキッチン」さんを紹介していただき、集まった150個の食品を寄付しました。食堂で使ったり、食堂に来ていただいた方に配ったりしますとおっしゃっていました。



10月6日： 江南市のホームページで尾北高校PTAのフードドライブの取組が紹介されました。

10月28日： 「尾北ホームニュース」の記事で尾北高校PTAのフードドライブの取組が取り上げられました。

3. 感想

活動は、とても盛況でした。コロナ禍で、行動や行事が制限される中、子どもたちに何か体験してほしいと思い、「フードドライブ」というボランティア活動を提案いたしました。食品を寄付してくれた生徒たちは、とてもうれしそうなお顔をを見せてくれました。「役に立っている」ことを実感してくれているのど感じました。

また、保護者の方から、「(フードドライブに寄付する食品を探していて)賞味期限切れのものが沢山見つかってショックだった。これからは気をつけたい。」というお声もいただきました。今回の活動が、「1. 貧困をなくそう」「2. 飢餓をゼロに」「3. すべての人に健康と福祉を」「12. つくる責任つかう責任」「17. パートナリシップで目標を達成しよう」等のSDGsの達成に少しでも貢献できればと思っています。

今後の活動は未定ですが、「フードドライブ」は文化祭におけるPTAの恒例行事にしていきたいと考えております。そして、子どもたちや地域の方の心に残るボランティア活動を続けていきたいと思っています。

PTA活動紹介		高P連受付番号	5
PTA(学校)名	愛知県立豊橋工科高等学校	部門	1:安全
活動テーマ	生徒・保護者が安心できる学校生活のために		
キーワード	安全	安心	事故防止
開催日	令和4年6月10日(金) 令和4年8月8日(月)		
場所	6月10日は本校体育館 8月8日はライフポート中ホール		
時間			
参加者	6月10日:生徒60人 保護者10人 8月8日:教職員60人 保護者10人		
趣旨	学校での安全に関しては、日ごろから周知に努めているが、通学途中の事故や、体調の急変から救急要請することもある。また、工業科では実習で様々な機械を扱うため、日ごろから安全教育を徹底しているが、その状況が保護者にうまく伝わらず不安を覚える保護者も存在する。いざという時の対処方法の習得のために、心肺蘇生の訓練は毎年実施しているが、そこにPTAの方も参加してもらい、技術を習得してもらうだけでなく、学校の取り組みを知ってもらい、安心して子供を送り出してもらえるようにすることを狙いとした取り組みを計画した。		
活動ポイント	生徒と保護者、教職員と保護者が同じ活動をするにより、内容だけでなく学校の取り組みを理解してもらい、安心につなげることを考えた。		
主体委員会名・講師名等	学校保健委員会、ハートセンター職員、豊橋市民病院 救急科医師		

1 生徒救急法講習会(救急技能認定証取得講習)
6月10日(金)午後から本校体育館で実施した。豊橋ハートセンターから講師の先生を迎え、次のような内容で実施した。

- ① AEDを含めた心肺蘇生方法
 - ・応急手当の目的
 - ・応急手当の必要性について
 - ・安全確認から観察までの流れ
 - ・心肺蘇生法の仕方
 - ・心肺蘇生法(胸骨圧迫)・実技
 - ・AEDの必要性
 - ・AEDの使用方法
 - ・AEDを使った心肺蘇生法・実技
 - 2 異物除去
 - ・背部叩打法
 - 3 止血法
 - ・直接圧迫止血法
 - ・間接圧迫止血法
 - 4 熱中症の対応
 - ・熱中症の症状
 - ・対応について
 - ・熱中症の予防
- 修了証交付



2 講演会【学校で起きそうな病気、けがの応急処置】
8月8日(月)午後からライフポート豊橋中ホールで実施した。豊橋市民病院 救急科の医師を講師に招き、次のような内容の講演をもらった。

- ① 概論
救急要請の判断基準、Q助(総務省が提供している救急受診が必要かのガイドアプリ)の紹介、医療者に必要な情報、二次被害の防止など、緊急事態に遭遇した場合の心構えや対処方法などを学んだ。
- ② 各論
骨折、刺創、指切断、墜落外傷、熱中症、けいれん、動物にかまれた、火傷、意識障害を伴う場合、腹痛、喘息、過量内服(オーバードーズ)など、考えられる多くの場合に備えた対処法を学んだ。

救急車を要請する基準など、いままでその場その場で対応してきたことを、しっかり教えてもらい、今後に生かすことができる内容であった。それだけでなく、病院の対応状況もわかり、地域医療を維持していく大切さも理解できた。



以上、二つの取り組みを、実施した。
この取り組みに参加した保護者から、次のような感想をもらった。
・保護者として、緊急時の対処方法を知ることができたことも大変ありがたかった。
・普段の学校での取り組みの一部を知ることができ、安心して子供を学校に送り出すことができる。
・自宅でも取り組める内容もあり、勉強になった。
・子供たちと一緒に学ぶことで家族での話題ができた。
このことからわかる通り、保護者は子供の安全を願っており、それに対する学校の取り組みにも関心を持っている。そして、学校での取り組みを一緒に体験することにより、安心感をも得られることがよくわかった。
今後も、PTAと学校とがより良い関係を築くことで、子供のより良い成長につながると考えられるため、互いに協力しながら様々な取り組みを実施していこうと思う。